

Camerata OFO (カメラータOFO) は、荻窪祝祭管弦楽団有志によるプロジェクトとして、2020年11月より活動を開始しました。荻窪祝祭管弦楽団では取り上げられない小編成の室内楽曲をピックアップし、演奏会毎の募集型室内楽オケとして活動しています。また、モダン楽器を使用しつつも当時の演奏方法／表現を目指すことで、技術向上も狙っています。

プログラムは、モーツァルトの楽曲から、17～18世紀の器楽曲の最も主要な演奏形式の一つであるフーガ (fuga) の代表曲2曲を取り上げ、まさにフーガで始まりフーガで終わる内容となっています。そしてその間には、今回指揮者として出演の日本フィルハーモニー交響楽団クラリネット奏者の照沼夢輝さん、トレーナーのヴァイオリニスト宮武佑果さんによるシュターミッツの協奏曲をお送りします。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

荻窪祝祭管弦楽団  
代表 中村健次郎



照沼夢輝 (指揮・クラリネット独奏)

Yumeki Terunuma (Conductor / Clarinet solo)

1994年生まれ。茨城県東海村で育ち、3才よりスズキメソッドにてピアノを、13歳より吹奏楽部にてクラリネットを始める。水戸第三高等学校音楽科を経て、東京芸術大学卒業。

これまでにクラリネットを吉成隆一、大熊洋子、山本正治、金子平の各氏に、指揮を湯浅勇治氏に師事。またチャールズ・ナイディック、パスカル・モラゲス、カール・ライスター、リカルド・モラレス、インヒュク・チョウといった海外の演奏家にも学んでいる。

第21回日本クラシック音楽コンクール第2位、第四回秋吉台音楽コンクール第3位(2位なし)、第90回日本音楽コンクール入選、日本木管コンクール3位他、ARDミュンヘン国際音楽コンクールやブラハの春国際コンクールなどに出演。第5回ジャックランソロ国際クラリネットコンクール セミファイナリスト。サイトウキネンフェスティバル 小澤征爾音楽塾オーケストラやアフィニス夏の音楽祭などに出演。

20歳で日本フィルハーモニー交響楽団のオーディションに合格し、東京芸大三年在学中の2015年8月クラリネット奏者に就任。以降、日本フィルを中心に各在京オーケストラへの客演や室内楽、近年は指揮など幅広く活動している。

ぱんだウインドオーケストラ、現代音楽アンサンブル『トーンシーク』各メンバー。  
ビュッフェ・クラボン契約講師。水戸第三高校音楽科非常勤講師。水戸ジュニアオーケストラ指揮者。



宮武佑果 (ヴァイオリン独奏)

Yuka Miyatake (Violin solo)

東京音楽大学卒業。

これまでにヴァイオリンを高島浩、大谷康子、嶋田慶子、荒井英治、ヴィオラを大野かおる、室内楽を苅田雅治、木野雅之、水島愛子各氏に師事。

第32回霧島国際音楽祭マスタークラスを受講し景山誠治氏に、ウィーン国立音楽大学セミナーを学費免除で受講しエドワード・ツィエンコフスキー氏に師事し各音楽祭演奏会に出演。

第8回センリア国際音楽コンクールで第2位(最高位)入賞。

第15回大阪国際音楽コンクールにてエスポアール賞受賞。その他入賞を重ねる。

2014年3月ソロリサイタルを開催。蓼科音楽祭2014に出演。2017年5月オルガニスト中澤未帆氏と委嘱作品を含む現代音楽中心の演奏会「生々流転」を開催。2018年にはコントラバス奏者金子さくら氏とのデュオ「Ciliegia」のリサイタルを同年9月に開催。委嘱作品や新曲の再演に積極的に取り組む。

現在後進の指導にあたりながらソロ、室内楽、オーケストラで活動の幅を広げる。

## INFORMATION

※各演奏会詳細につきましては、各演奏会2ヶ月前頃に荻窪祝祭管弦楽団ホームページで広報いたします。

第37回荻窪音楽祭 荻窪祝祭管弦楽団 第17回定期演奏会  
2024年11月9日(土) 13:30開演予定  
杉並公会堂 大ホール

指揮：後藤悠仁  
ピアノ独奏：桑原志織

J.ブラームス：ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 op.83  
大学祝典序曲 ハ短調 op.80  
F.メンデルスゾーン：交響曲第5番 二長調 op.107「宗教改革」

## 団員募集

荻窪祝祭管弦楽団では一緒に演奏する仲間を募集しています。詳しくは当団ホームページをご確認ください。ご応募お待ちしております。